

年間研修計画の工夫

小学校

短期的なサイクルで改善を図った校内研修の取組

○ 実践の概要

本校では、全ての教職員の発達障がいに関する専門性の向上及び特別支援教育に係る校内体制の確立を図るため、特別支援教育コーディネーターが教育局特別支援教育スーパーバイザーと連携して研修計画を作成し、Web 会議システムを活用した効率的で効果的な研修を推進しました。

【特別支援教育コーディネーターと教育局 SV が連携して作成した研修計画】

月	方法	内容	参加者
5月	Web 会議	・ 事業内容の理解 ・ 学校課題の明確化 ・ 支援策の検討	・ 管理職 ・ 教育局 SV
	会議	・ 今年度の取組の共有	・ 管理職 ・ 教育委員会担当者
6月	▼	実践	
7月	Web 研修	・ 実践の成果と課題の共有 ・ 分析及び改善策の検討	・ 特別支援教育コーディネーター ・ 教育局 SV
8月	▼	実践	
9月	校内研修	・ 発達障がいの特性について ・ 実践の成果と課題の共有 ・ 分析及び改善策の検討	・ 全教職員 ・ 教育局 SV
10・11月	▼	実践	
12月	Web 研修	・ 実践の成果と課題の共有 ・ 分析及び改善策の検討	・ 特別支援教育コーディネーター ・ 教育局 SV
1・2月	▼	実践	
2月	Web 研修	・ 今年度の取組の成果と課題の共有 ・ 次年度に向けた取組の方向性の検討	・ 管理職 ・ 特別支援教育コーディネーター ・ 教育局 SV ・ 教育委員会担当者

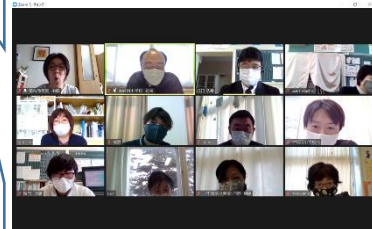
※7・9・12月の会議等終了後、教育局 SV と教育委員会担当者が内容について情報共有

【研修計画作成のポイント】

研修計画の作成においては、研修したことを日々の実践に生かし、取組の改善・充実が図られるよう、短いサイクルでの計画を立案しました。

また、校内の支援体制の充実に向け、参加対象を明確にして研修内容を検討しました。

【Web 会議システムの活用】



年間を通じて計画的に研修を進めることができるよう、Web 会議システムを活用し、教育局特別支援教育スーパーバイザーによる説明や指導助言を実施しました。

○ 実践の成果

本取組では、特別支援教育コーディネーターが中心となり、短期的なサイクルで研修を計画・実施したことにより、教職員が研修内容を実践に生かし、指導や支援の成果を共有しながら、特別支援教育の充実を図ることができました。

また、Web 会議システムを活用し、効率的・効果的な研修を実施したことにより、課題や疑問に即座に対応したり、改善策等を明確にしたりして、教員の特別支援教育に関する専門性の向上につながりました。